

新聞エコバッグで地域貢献



金成地区支え合い会議を通じて、警察の方からの発案で防犯のチラシをエコバッグに貼ることになりました。



▼竹かごづくり
昔、竹かごを作って販売していた利用者様に作っていただきました。



▼卒業する6年生へプレゼント
小学校を卒業する児童クラブの6年生に、手作りのメモスタンドをプレゼントしました。



▼ミシンでカバーづくり



twitter

carestanakamach



Facebook

caresta.day



instagram

care.sta

広報 晴耕雨読

[Seiko-udoku]
2024年3月 vol.61



一軒家 “まるごと” 生活リハビリ型デイサービス 活動報告



生活リハビリとは？
「自宅やデイサービスで、ご自分がしたいこと、できることを見つけて出し、生活動作として毎日繰り返すことで、身体的機能と認知機能の維持・向上を図ります。」
「テーブルを拭く、ご飯をよそう、配膳を手伝う、衣服の着脱を自身で行うなど、生活のなかのあらゆる場面で、ご利用者が現在できていることは可能な限りご自身で行っていただきます。また、少しだけ頑張っていたり、選択プログラムもご利用しております。そのことが、生活の質の維持・向上につながる」と考えるからです。
さらに、ケアスタ中町では、お一人おひとりのご利用者の心に潜んでいる「してみたいこと」を一緒に探し出し、そのことが実現できるようにサポートいたします。
☑様々なプログラムがありますので、集団になじめない方でも対応できます。また、これまでの生活習慣を変えないように、料理や掃除、社会参加プログラムもご利用しております。

認知機能や身体機能の維持・向上を図ることができます。

その方の生活の質の維持・向上が期待ができます。

「したいこと」を見つけ出すことで、意欲を引き出せます。



新聞エコバッグ配布

SDGsの取組として、利用者の皆様に新聞エコバッグを作って頂いています。出来上がったエコバッグは児童クラブや近所のお店に置かせていただいています。

新聞エコバッグ配布

「なじみの作業記憶」を活用
認知症の人は、なじみのない行動は苦手です。目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったりして、混乱・困惑し、時にはやらされていることへの怒りを感じることもあるでしょう。
一方、積み重ねてきた作業を体が覚えていることとあります。認知症の人は、そうした「体で覚えたこと」なじみの作業は、失われにくい傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。慣れた行動、わかりやすい目的のため、前述のような感情にとらわれずにすすみます。

要支援・要介護1～5の方がご利用できます。

見学・体験利用受付中

ご利用に関するご相談はLINE
またはお電話でお問合せ下さい！



☎0228-24-8456